

担当講座	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	問合せ先	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座
分野責任者	志賀 清人 教授	連絡先	内線 6302
担当教員	志賀 清人 教授 片桐 克則 准教授 平海 晴一 准教授		
人材育成の 基本理念	頭頸部外科学および耳鼻咽喉科学領域の基礎あるいは臨床研究者を育成する。		
主な研究内容	頭頸部外科学および耳鼻咽喉科学一般。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	頭頸部外科学および耳鼻咽喉科学領域に関する高水準な知識を習得し、基礎的あるいは臨床的研究を行う。		1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる	ベーシックセミナー	
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論	
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(4)解析結果をまとめ、発表できる（英文が望ましい）	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、耳鼻咽喉科症例検討会、頭頸部外科症例検討会、頭頸部癌手術、頭頸部外科手術、耳・鼻・咽頭手術	
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー	
	(7)頭頸部領域（耳、唾液腺、口腔咽頭、鼻腔、喉頭、頸部、甲状腺など）の炎症性疾患、腫瘍性病変を的確に診断し、保存的あるいは外科的に治療することができる。	特別研究ⅠⅡⅢ、耳鼻咽喉科症例検討会、頭頸部外科症例検討会、頭頸部癌手術、頭頸部外科手術、耳・鼻・咽頭手術	
	(8)嚥声をきたす喉頭良性疾患を的確に診断し、保存的あるいは外科的に治療することができる。	特別研究ⅠⅡⅢ、耳鼻咽喉科症例検討会	
	(9)頭頸部悪性腫瘍を診断することができ、的確な検査を行い、治療計画を立てることができる。	特別研究ⅠⅡⅢ、頭頸部外科症例検討会、頭頸部癌手術、頭頸部外科手術	
	(10)頭頸部領域の基礎的な画像診断ができる。	特別研究ⅠⅡⅢ、耳鼻咽喉科症例検討会、頭頸部外科症例検討会、頭頸部癌手術、頭頸部外科手術	
	(11)放射線科、形成外科、外科などの診療科と協力して定期的にカンファレンスを行い、治療を行うことができる。	特別研究ⅠⅡⅢ、頭頸部外科症例検討会、頭頸部癌手術、頭頸部外科手術	
	(12)症例報告・研究の成果を国内外の学会で発表することができる。	特別研究ⅠⅡⅢ、耳鼻咽喉科症例検討会、頭頸部外科症例検討会、頭頸部癌手術、頭頸部外科手術、耳・鼻・咽頭手術	
(13)研究の成果を国内外の雑誌に投稿することができる。	特別研究ⅠⅡⅢ		
資格取得等	日本耳鼻咽喉科学会専門医、頭頸部がん専門医、日本気管食道科学会専門医、がん治療認定医。		
履修に関する 情報	社会人大学院生に関しては勤務の都合で日程・時間等調整する。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論（2単位）」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。（問合せ先：耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局・内線 6302）。		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特 論	1～4年	講義 耳鼻咽喉科症例検討会	通年	30	4	20単位	
		講義 頭頸部外科症例検討会	通年	30	4		
		実習 頭頸部癌手術	通年	60	4		
		実習 頭頸部外科手術	通年	60	4		
		実習 耳・鼻・咽頭手術	通年	60	4		
特別 研 究	2年	特別研究Ⅰ（初期審査）	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
	3年	特別研究Ⅱ（中間審査）	通年	8	1		
	4年	特別研究Ⅲ（論文作成）	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

頭頸部外科学

コード	MD15251010				MD15251020				MD15251030				MD15251040			
科目	耳鼻咽喉科症例検討会				頭頸部外科症例検討会				頭頸部癌手術				頭頸部外科手術			
担当者	志賀 清人 教授				志賀 清人 教授				志賀 清人 教授 片桐 克則 准教授				志賀 清人 教授 片桐 克則 准教授			
会場	カンファレンスルーム				カンファレンスルーム				手術室				手術室			
区分等	区分	講義	単位	4	区分	講義	単位	4	区分	実習	単位	4	区分	実習	単位	4
	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年60コマ	配当年次	1~4	回数	通年60コマ	配当年次	1~4
主な授業内容	実際の症例を通じて個々の疾患を学ぶ				実際の症例を画像診断を中心に検討する				頭頸部癌手術の助手を務める				頭頸部外科手術の助手を務める			
教育成果	耳鼻咽喉科の手術例や問題症例について現病歴・既往歴・家族歴・現症や画像診断を検討することにより、疾患の全体像や手術・治療法の選択など適応についての知識を習得する。				頭頸部外科の手術例や問題症例について現病歴・既往歴・家族歴・現症や画像診断を検討することにより、疾患の全体像や手術・治療法の選択など適応についての知識を習得する。				頭頸部癌症例の実際の手術に携わることにより、良性から悪性まで様々な頭頸部腫瘍について臨床的かつ広範な知識を習得する。				頭頸部外科症例の実際の手術に携わることにより、外傷、感染症、気道確保、嚥下障害などについて臨床的かつ広範な知識を習得する。			
SBO	分野の達成目標 (5)(7)(8)(10)(12)				分野の達成目標 (5)(7)(9)(10)(11)				分野の達成目標 (5)(7)(9)(10)(11)				分野の達成目標 (5)(7)(9)(10)(11)			
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学】講義の出欠は履修手帳で管理する。															
評価方法	【2021年度以降の入学】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学】出席、レポートなどにより総合的に評価する。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

コード	MD15251050				MD15259010				MD15259020				MD15259030			
科目	耳・鼻・咽頭手術				特別研究 I				特別研究 II				特別研究 III			
担当者	平海 晴一 准教授				各指導教員				各指導教員				各指導教員			
会場	手術室				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定			
区分等	区分	実習	単位	4	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	2
	回数	通年60コマ	配当年次	1~4	回数	通年8コマ	配当年次	2	回数	通年8コマ	配当年次	3	回数	通年15コマ	配当年次	4
主な授業内容	手術助手あるいは術者を務める				・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査実施				・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査実施				・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終審査の準備			
教育成果	耳鼻咽喉科症例の実際の手術に携わることにより、耳疾患や鼻副鼻腔疾患、扁桃疾患や感染症などについて臨床的かつ広範な知識を習得する。				生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <初期審査> 2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 3年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終審査に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成> 4年次12月までに実施。論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。			
SBO	分野の達成目標 (5)(7)(12)				分野の達成目標 (3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)				分野の達成目標 (3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)				分野の達成目標 (3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)			
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学】講義の出欠は履修手帳で管理する。				初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。				中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。							
評価方法	【2021年度以降の入学】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学】出席、レポートなどにより総合的に評価する。				①受講票 ②初期審査結果				①受講票 ②中間審査結果				①受講票 ②学位申請論文の提出			
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

●時間割

頭頸部外科学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20		頭頸部癌手術			頭頸部外科手術	
2 限	10:30~12:00		頭頸部癌手術			頭頸部外科手術	
3 限	13:00~14:30		頭頸部癌手術	耳・鼻・咽頭手術		頭頸部外科手術	研究方法論
4 限	14:40~16:10		頭頸部癌手術	耳・鼻・咽頭手術		頭頸部外科手術	
5 限	18:00~19:30		耳鼻咽喉科症例検討会				
6 限	19:40~21:10	頭頸部外科症例検討会		特別研究Ⅰ～Ⅲ			
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20		頭頸部癌手術			頭頸部外科手術	
2 限	10:30~12:00		頭頸部癌手術			頭頸部外科手術	
3 限	13:00~14:30		頭頸部癌手術	耳・鼻・咽頭手術		頭頸部外科手術	研究方法論
4 限	14:40~16:10		頭頸部癌手術	耳・鼻・咽頭手術		頭頸部外科手術	
5 限	18:00~19:30		耳鼻咽喉科症例検討会				
6 限	19:40~21:10	頭頸部外科症例検討会		特別研究Ⅰ～Ⅲ			

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						